



尾道賞 [グランプリ] — 藤野 陽平《尾道水道》

The 21st Paintings Exhibition and Contest of Picturesque Onomichi in 4 Seasons.

# 第21回 絵のまち尾道四季展

## 入賞・秀作展覧会

会期 2025年2月22日(土) — 3月9日(日) (会期中無休) 会場 尾道市立美術館

開館時間 = 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

入館料 = 一般310円、学生210円、中学生以下無料 ※団体(有料20名以上)は各50円引

●70歳以上、各種手帳をお持ちの方は、証明するものを提示により無料

## 入選作品展示

会期 2025年2月22日(土) — 3月9日(日) 会場 尾道市内商店街ほか

●店休日は各店舗により異なります。事前にお問い合わせください。

【主催】絵のまち尾道四季展運営委員会 【共催】尾道市・尾道市教育委員会・尾道市立美術館・尾道商工会議所・尾道観光協会

【後援】NHK広島放送局・中国放送・テレビ新広島・広島テレビ・広島ホームテレビ・ちゅピCOM・中国新聞株式会社・広島エフエム放送・尾道エフエム放送・エフエムふくやま

【協賛】尾道銀行倶楽部・カナデビア(株)向島工場・日東電工(株)尾道営業所・広島ガス(株)尾道支店・プレス工業(株)尾道工場・丸善製薬(株)

# 第21回 絵のまち 尾道四季展

中世以来、商港都として発展してきた尾道には、かつて、文人墨客が来訪し、その足跡を留めてきたように、今も独自の美しい景観と風情を求めて、多くの画家が訪れます。

「絵のまち尾道四季展」は、昭和58年(1983)に始まった「第1回展」以来、隔年開催を続け、今回で「第21回展」を迎えます。この展覧会には、全国32都道府県から335人、414点もの、尾道を描きたいという情熱や感動を感じとれる素晴らしい作品が寄せられました。

本展覧会では、尾道賞[グランプリ]をはじめ、入賞・秀作作品は尾道市立美術館に、入選作品は市内商店街などへ展示しています。

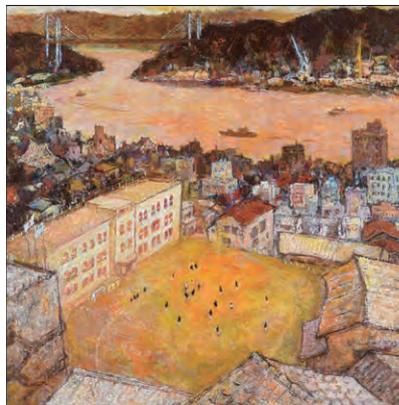
どうぞこの機会に、尾道のまち歩きと併せて美術作品鑑賞をゆっくりとお楽しみください。



小林和作賞 — 酒井 克典《小さな風景》



優秀賞 — 佐久間 亨《尾道着いた》



優秀賞 — 村田 賢二《尾道が育む》



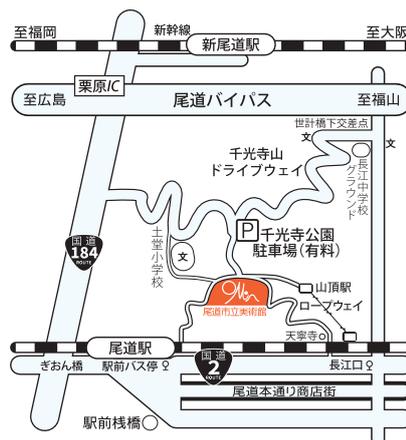
優秀賞 — 山本 郁雄《ふるさと》

## アクセス

JR山陽本線「尾道駅」から、東行きバス(①番のりば)で「長江口」下車、千光寺山ロープウェイで「千光寺公園」へ。なお、美術館最寄りの「千光寺公園」行きバスは便数が少ないのでご注意ください。

ロープウェイ山麓駅観光案内所▶TEL:0848-22-4900  
お車の方は、千光寺山ドライブウェイ経由で「千光寺公園駐車場(有料)」をご利用くださいましたら、入館時に駐車券提示により1名に限り100円割引します。

- ◎山陽自動車道尾道ICより約20分
- ◎山陽自動車道福山西ICより約15分
- ◎JR山陽本線「尾道駅」、JR山陽新幹線「新尾道駅」からタクシーで約15分



**尾道市立美術館**  
ONOMICHI CITY MUSEUM OF ART  
〒722-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内 Tel 0848-23-2281  
[URL] <https://www.onomichi-museum.jp/>

## 問い合わせ先

- 絵のまち尾道四季展運営委員会事務局  
〒722-0032 広島県尾道市西土堂町17-19  
尾道市立美術館内  
TEL: 0848-23-2281 FAX: 0848-20-1682  
URL <https://www.onomichi-museum.jp/competition/2.html>

## 次回展覧会予告

【特別展】江戸庶民の美 大津絵と浮世絵版画  
— 幻の東海道五拾三次 —

会期 = 令和7年(2025)3月15日(土) ~ 5月6日(火・祝振)  
観覧料 = 一般800円、学生550円 ※中学生以下無料  
※前売りは各200円引、団体(有料20名以上)は各100円引